

## 令和3年度 第4回磐田市行政経営審議会 議事録

日 時 令和3年10月14日(木) 18時30分から20時00分まで

出席者 委員12名

浅野真人 委員、飯田昌弘 委員、井上佳子 委員、岡本一夫 委員  
杉本達男 委員、鈴木敦之 委員、砂川利広 委員、高柳裕久 委員  
竹内育代 委員、寺澤達也 委員、村上勇夫 委員、鷲崎早雄 委員

事務局(企画部長、秘書政策課長、秘書政策課グループ長)

進行：秘書政策課長

1 開 会

2 定足数の確認

3 会長あいさつ

4 議事

- ・第2次磐田市総合計画後期基本計画(案)への意見の反映状況について

## ■第2次磐田市総合計画後期基本計画（案）について

委員	<p>2点意見がありまして、1点目は、行財政改革の「現状と課題」という中で、1番最初にDXについての意見です。指標の中にDXの項目が入っていないので、何かしら入れたらいいのかなと思います。資料2のところで、「磐田市DX推進計画」を本年度作成する予定とのことなので、そこに記載されると思いますが、1番思うのは、マイナンバーカードの普及の施策についてのところ です。普及率が、2～3割ぐらいだったと思いますが、10月から保険証に紐づけされるようになったので、これから税金や銀行口座などに対してリンクしていくことになるので、マイナンバーカードの普及率の指標を入れたら、DXとしてやるのが明確になると感じています。DXの肝になっていくものだと思います。</p> <p>2点目については、以前、新聞に出ていた子育ての関係で、「子育て」の施策は計画に記載はありますが、例えば福岡市では、プレコンセプションケアという「妊娠前ケア」を行っています。妊娠計画の有無にかかわらず、女性やカップルが自身の体や健康と向き合い将来設計に役立てるということですが、妊娠前のところのケアも今後、何かしら検討されるといいのかなと思ったので意見として言わせていただきます。</p>
事務局	<p>マイナンバーカードに関しては、マイナポイントを付けるようにしてからは、普及率が伸びてきているようですが、指標への追加に関しては検討させていただきます。</p> <p>それから、子育ての関係ですけども、おっしゃるとおり「出会い～子育て」まですべて網羅されていないと思います。担当部署に確認し、盛り込めるものがあるか検討させていただきます。</p>
委員	<p>3ページのまちづくりの柱の補足説明を加えていただき、非常にわかりやすくなってよかったですし、これから一般の人たちがこの計画を見るためには非常に役に立つと感じます。ただ、これは計画なので、具体的な取組みはあまり出ていないので、例えば、各分野の目標値を達成させるために、担当部課を記載するとか算出根拠を示すことをしてもいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>具体的な取組みは、基本計画に基づいた実施計画があります。基本計画の5年間の計画ですが、実施計画は毎年策定し公表しており、担当課、予算規模、内容を掲載しています。併せてご覧いただくと、より分かるようになるのかなと考えております。</p>
委員	<p>第2次磐田市総合計画の前期の冊子と見比べてみましたが、総合計画が磐田市における最上位計画の位置付けであり、行政の連続性は当然なければいけないと理解はできますが、章立ても、まちづくりの柱も前期と同じつくりになっていると思います。市長が変わっているタイミングでもあり、市民は計画にどう変わってくるのかなっていう、ワクワクするところを1番見ると、期待するところだと思います。同じようなつくりだと、インパクトがないと思いますし、重点的な改革をしっかりと見せる必要があると思います。例えば、冒頭の市長の挨拶の中に、何かインパクトが出る言葉を出していくのか、構成を変えるのか、工夫する必要があると思いますし、また、計画にSDGsの目標のマークが付いているが、ただ付いているだけでなく、例えば市長として、SDGsの未来都市として宣言をすとか、デジタルスマートシティとしての宣言をすとか、後期の5年間で新しい市長に変わったことをしっかりと出してほしいと思います。</p>
事務局	<p>今回の計画では、見せ方の部分で、ご指摘いただいたように足りてない部分があるかと思いますが、表現については、検討させていただきます。次回には何か、お示しできるようにしたいなと思いますし、宣言に関しても、検討させていただきます。</p>
委員	<p>いくつかの意見と要望をお願いしたいと思います。</p> <p>まず2ページのところの「策定の趣旨」のところ、下から4行目の「こうした中～」の文中、「こうした中、前期基本計画の～終了することから、“新型コロナウイルス感染症を始めた”本市を取り巻く～」というように、新型コロナウイルスの文言が入ったほうがいいのかと思いました。</p>

	<p>次に3ページの、柱の中の3本目「自然と歴史・文化のまち」ですが、「本市の有する豊かな自然や歴史・文化を大切に守り」で止まっています。33ページの文化財の計画の中を見ると、文化財法が変わったため、これからは、「保護と活用」の方針が明確になりました。こここのころは、「文化を大切に守り、まちの魅力を高めるとともに賑わいをつくっていく」、文化庁でも、観光振興の目玉とも考えていますので、保護だけではなく活用するといった要素が、この柱の中には、文言として入ったほうが良いに思っています。</p> <p>続いて、25ページのシティプロモーションのところ。「イメージキャラクターの活用を促進します」とありますが、例えば今かなりアニメキャラクターが注目されていて、恐らく来年、再来年ぐらいまで、それを目当てにした交流人口も増える可能性があります。また、再来年の大河ドラマは「家康」なので、既に大河ドラマに関しては、この地域も動きを始めています。そういった要素をシティプロモーションの中に言葉として入れると、「しっぺい」だけではなく、いろんな要素を含めたシティプロモーションをやっていくのだと、メッセージの発信になると思うので、文言を入れたらどうかというふうに思っています。</p> <p>続いて31ページですが、計画には、地域企業とか言葉として明確に書き出せない部分もあると思いますが、「スポーツの振興」のところはまさに、磐田の非常な強みだと思っています。そういった中でこういった言葉をぜひ入れてほしいという要望ですが、一つは、「ナショナルサイクルルート」が通っていて、これからサイクリングは、スポーツとか健康と結びついた新しい分野の交流人口の拡大、健康増進につながることで、「ナショナルサイクルルート」という言葉も、入れていただきたいこと。もう一つは「ジュピロ磐田」だけでなく、ラグビーの「ブルーレヴズ」も言葉として入れてもいいと思います。また、卓球ですが、東京2020オリンピックパラリンピックのレガシーというと、日本全国がレガシーになってしまうので、磐田としてのレガシーは何なのかといったら、一番に浮かぶのは、卓球でありアリーナとなると思います。こういった言葉は、市民にとって非常に市がこういうことを考えてるんだというメッセージになると思います。</p> <p>次に、45ページの目標のところ、「75歳から84歳までのお達者な人の割合」は、市の独自指標だと思いますが、市民の方々に示す指標としては、健康寿命というものは全国的に出されているものでもありますし、県だけで言いますと「県のお達者度」を出してあります。他県や他市との比較も、市民が非常にわかりやすいので、その独自指標は指標としては結構ですが、一般的な、指標というものを意識されたほうが良いではないかなと思います。</p> <p>次に、56ページの「危機管理・防災対策の推進」のところ、「2 地域防災力の向上を図ります」のところですが、「人づくりと地域づくり」が重要だと考えます。危機管理・防災対策で今一番大事なのは、人材育成だと思うので、人づくりに関することを入れた方がいいと思います。地域防災力の強化は、自主防災組織の活動をしていただける人材も重要な部分であり、小学校も含めジュニア防災士の取組みも行っていることでもありますので、「地域防災を担う人材の育成」に関することを入れていただけたらありがたいと思っております。</p>
事務局	<p>具体的に御提案いただきましたので、それぞれの担当部局と検討させていただきたいと思っております。指標についても、担当部局の思いがあって設定している可能性もありますので、確かに他市と比較して、他県の数字等見て、市がどの位置にいるかの観点は必要と思っている部分もありますので、検討させていただきます。</p>
委員	<p>46ページの「地域福祉の推進」、48ページの「高齢者福祉の充実」、この2つに関連させて意見を述べます。「地域福祉の推進」については、高齢者が、その支援の対象というふうには、全体的に位置づけられています。私は、高齢者は地域の担い手だと思っています。例えば、具体的に言うと、小学生の子供が学校に登下校しているときに、シニアクラブを中心とした高齢者がその守り手を担っています。つまり、地域の宝である子供を守っているのが高齢者だということ、高齢者を単に守られるべき対象としてだけ位置付けると、地域の実態と違ってくるのではないかなと思います。高齢者がむしろ頑張っている、高齢者を支えているのも高齢者なんだということが、あったほうが良いかなというふうに思います。</p>

	<p>続いて48ページの「高齢者福祉の充実」なのですが、同じような趣旨なのですが、健康長寿のところで、大体平均年齢よりも5歳引いたところぐらいが体調だとかの一つの大きな転換期になります。そうすると、男性で75歳ぐらい、女性で80歳ぐらいのところが年齢的な変化の時点になります。そこを前提として話ですが、「1 生きがいづくりと介護予防の充実を図ります」のところで、百歳体操をやって、そしてその介護予防に結びつけますよっていうのと、それからフレイル予防の取組み、これはとても大事な取組みだと感じ始めています。</p> <p>もう一つは、やっぱり高齢者とともに弱っているわけですね。昨日出来たことが出来なくなるっていう、そういうことをだんだんと経験していきます。そうすると、地域の中に元気な高齢者と、いろんな困難を抱え込んでくるような高齢者と、両方当然混在するわけです。そうなったときに、高齢者が高齢者を支援する、例えば磐田市では家事支援だとか、買物支援という形でその草取りが出来なくなった、それから電球を交換するときに椅子から転がり落ちそうになるのでとても怖くて出来ないとか、本当にちょっとした家事が出来なくなってくる状態の人がもちろんいます。それを支援する取組み、そういう助け合い活動が本当に定着してきました。これはとても大きな部分だと思います。</p> <p>次に「2 住み慣れた地域で暮らすための支援の充実を図ります」というところで、包括的に、日常生活が守られるような体制をつくりますよってことになんのですが、ここで整理しておきたいのは、ひとり暮らしの人が本当に増えてきています。ひとり暮らしで80代後半っていう人がもう珍しくない状態なんですね。そういう人が安心して暮らしていけるためには、実は、公的な支援と高齢者同士で支え合うという、地域のなじみの人が、ちょっとしたことを手伝ってあげて、そして、話し合い手になってっていうのが、実は元気を落とさずに暮らしていく1つのエネルギーの素になっています。高齢者福祉を充実させていくことは、公的な支援体制をしっかりと組むということと、それから今、始まっている高齢者同士の支え合いの体制をもっと広く、地域全体に広げていく中で、磐田市は高齢者が住みやすいまちだということを実現していくことがとても大事だと思います。</p>
事務局	<p>地域福祉の部分で、高齢者の方が地域でいろいろなことを担っていただいていることは、承知をしています。実際に、その地域活動で実は中心になっている地域もあると思っていますので、記載について検討させていただきたいと思います。</p> <p>それから、2点目の高齢者同士の支え合いに関してもそういう時代が来ている状況はありますので、併せて検討させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>さっきSDGsの話がありました、すべてのところに17番のマークがついていて、17番は「パートナーシップで目標達成しよう」ということですが、磐田市の総合計画は、これは市がやることを定めたものというのだけではなくて、見た市民がこれから、どう動いていって「道しるべ」になるものだと思っています。市はこういうことを考えている、これをやりたいんだっていうところが、これを見れば一目瞭然で分かると思えます。</p> <p>先ほどの17番になるんですけども、パートナーシップのマークがすべてについていますので、誰とのパートナーシップかなと気になりましたが、多分これは、我々、磐田市民であったり、いろんな関係者だったり、パートナーシップで問題を解決していくものだと感じました。なので、例えば、計画の始めなどに、市民とのパートナーシップで目標達成しようという意気込みというか、そういう掛け声というか、書いてくれていると、磐田市は、僕たちと一緒にこうやっていくんだっていうような、見た市民がそう思える計画になるんじゃないかな思いました。</p>
事務局	<p>この17番は、市民の皆さんあつての市役所っていうこともあるので、意識して付けたところもあります。先ほどもSDGsは少し触れただいたと思いますが、関係性がわかりにくいと思うので、市長の挨拶文、前段、または、そのSDGsの推進のところのどこかで、市民・事業者の皆さまとのパートナーシップでの表現ができるように検討させていただきたいと思います。</p>

委員	<p>分野3の「新時代の新たな学校づくりを推進します」のところでは、今、全国どこでもメディアスクールの構想を実施していて、既に1人1台端末が小学校1年生から配備されている中で、いろいろ苦労されていると思います。いろいろ教育委員会の方針もあるとは思いますが、各自治体によってその支援の仕方は様々ありますので、磐田市サイドを確立するためには、他の市町村との連携や情報共有をしていただきながらいいところを取りをしていただく。また、民間もここを市場としていろんな業者が参入してくると思います。このGIGAスクール構想の中では、やはり数値化、学業の数値化であったり、習熟度などの見える化がさらに進んでいくと思います。端末整備がなされたところで、今度はソフトの強化ということが、大変重要な課題になってきていると思います。生徒はさほど抵抗がないと思いますが、それを見守る、親、大人のほうが、実は遅れていて、ここまでやれば十分なのかどうかというところの判断が難しいのではないかと認識をしております。そういった意味でも、他市町村との情報共有をし、他市のいいところをやるという研究を続けるようなことを盛り込んでもらいたいと思います。</p>
事務局	<p>確か夏前ぐらいに、小学校1年生まで、1人1台の端末が配布されたと聞いています。今後やっていく中で事例も含めて、どうやったら一番効率的に活用できるか考えていくと思いますし、それが計画にどう盛り込めるか、検討させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>分野3の「子育て・教育」に関わることで、市の担当部局として幼稚園・小学校・中学校まではあるんですけども、高校を担当するところがないのかなという印象を受けておまして、高校生が受けられる施策が少ないかなと感じています。今、子供たちは多様化してまして、通常の高校のほかにサポート校や定時制、通信制だったり様々なところに進学をされたり、途中で退学をされて地域を守るというような子供たちもいますので、少し高校生に対する支援施策というのをお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>高校生との接点は薄い印象は確かにあると思います。現在、高校生の政策提案としてやっている事業がありますが、まずはどこかからの部分で、高校生にも接点を持ちながら、きっかけづくりができればと考えているところです。</p>
委員	<p>全体的な見せ方で、後期計画になり、市長も変わったタイミングなので冊子の見せ方は、とても大事なものでレイアウトの工夫などが出来たらなと思いました。また、SDGsのマークがあるが、取って付けたような感覚で見えてしまうので、何かしらの工夫が出来ないかなとも思いました。</p> <p>子育て・教育のところ、環境的な施策は取組としてはありますが、企業側への育休取得制度の推進について文言を入れてもいいのかなと感じました。</p>
事務局	<p>SDGsについては少し工夫をさせていただいて、次回お示しできるようにしたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>それから、育休とかワーク・ライフ・バランスについては、分野7の、基本政策の3に「職場の資質向上と職場環境の整備を推進します」とあり、その中に、市役所の中のことだけではなく、企業や市役所におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進ということで、抽象ではありますが少しは触れさせてはいただいています。</p>
委員	<p>私が考えてほしいのは健康です。医療費が上昇したり、障害のことや子供たちの夢など、いろんな部分で「食」がすごく大事だと感じています。安全な食育というところに力を入れた政策があってほしいなと思います。</p>
事務局	<p>食育については、この中では薄い感じがされると思います。総合計画の下位計画に、食育に関する計画がありまして、食育は学校や園でも当然取り組んでおりますので、この計画では全て書けず申し訳ないのですが、取り組んでいる実態があるので紹介だけさせていただきます。ありがとうございます。</p>
委員	<p>空き家バンクの推進のところ、磐田市の中で空き家が何件あるとかっていうことを問合せたときに、数値が出てこなかったもので、現状の把握をしながらの推進をしてもらいたいと思います。</p> <p>また、以前、生活保護者を支援する団体が、調整区域が壁になり活動場所を確保できなかった事例がありましたので、市として支援できることを検討していただきたいと思います。</p>

	<p>また、学習チャレンジ支援事業の対象の拡大や実施個所の増加など、生活困窮世帯への学びの確保に力を入れてもらいたいことと、フリースクールへの送迎支援など、細かな支援があると良いと感じています。</p>
事務局	<p>空き対策計画については現在策定中でして、計画の中には空き家の件数などもあるので近いうちに公表できると思います。また、学習チャレンジ事業、フリースクールにつきましては、ご意見を担当部署に伝えていきます。</p>
委員	<p>今までの意見を聞いていて、総合計画は、市の最上位計画で全体を網羅したものになっているので、どうしても細かなところまで書き込まないというのはよくわかります。そういった中で、この総合計画の分野の基本施策ごとに、関係する個別の下位計画と言われるものが必ずあると思いますので、関係計画のような形で計画に書き込むことによって、その分野に興味ある方が、総合計画を見て、その下位計画に誘導できるような見せ方も一つだと思います。そうすることによって、市民の方々からは、非常に見やすくなるのかなというふうに感じました。</p>
事務局	<p>下位計画の関連が分かるようなものを検討させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>22ページの「産業を担う人材育成・就労の支援」の3番目の、「若者・女性の就労を支援します」というところで、「市内学生の地元就職を支援する事業の実施」ということを加えていただきました。それで、実施ということだけだと、底が抜けてしまうかもしれないので、できれば目標値を歯止めとして入れていくようなことを考えていただけないでしょうかと思います。例えば、市内の学校では、市内企業に何人地元で就職してるっていう数字は当然分かるわけです。それを何人まで持ってってという議論はあまりしたことないんですが、ここでその数字をつくることによって、どういうふうマッチングさせようとか、いろんなアイデアが出てくると思います。そういう意味で、目標値を入れてしまうというのは一つの歯止めになるので、できればそのことを考えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>大学との連携は、計画にはたくさん書けなかったですけど、掲げているところでございますので、検討させていただきたいと思います。</p>

5 閉会 審議会 終了（20：00）